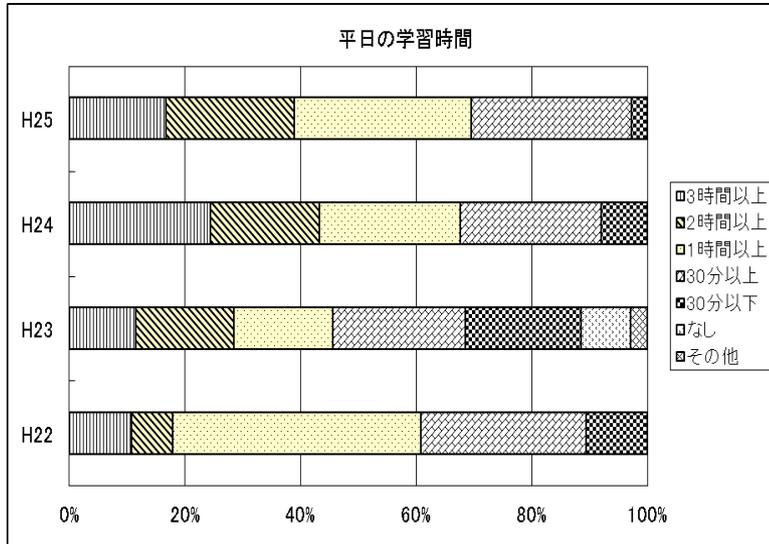


# 全国学力学習状況調査の結果から見える子ども姿

◇シリーズその9◇



左のグラフをご覧ください。全国学力学習状況調査（質問紙）の中の、家庭学習の時間（平日・6年生）です。白い枠から左が1時間以上行っている子どもたちですが、ここ数年は増加の傾向にあります。今年度の分につきましても後日公表いたしますが、6年生の目標である「1時間」学習している子どもの割合はここ数年で最高になっています。このように、家庭学習が定着してきていますのは、ご家庭のご協力の賜です。学年×10分の学習習慣は1年生からつける必要があります。

学力向上のためには、学校と家庭が車の両輪になって走る必要があります。右の写真は5年生の算数（習熟度別少人数学習）の様子です。子どもたちはスケートや水泳の授業と同様に、算数でも自分の学習スピードや理解方法にあったコースを選んで学びます。この日は5年1組に6名の教員が入って授業が行われました。学校ではよりきめ細かく行き届いた指導を行えるよう今後も授業改善に努めてまいります。

